

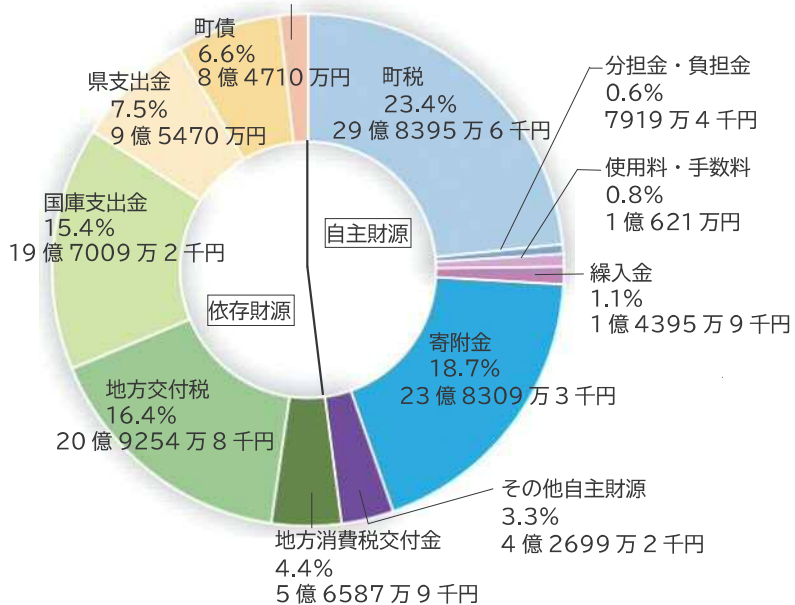
決算を報告します

昨年度に町にどんなお金が入ってきて、
どんな使われかたをしたのかご覧ください

令和3年度の一般会計決算額は、歳入（町に入ったお金）が127億7,783万1千円、歳出（町が使ったお金）が123億8,186万9千円で、差し引き収支が3億9,596万2千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の4,417万9千円を除くと実質収支額は3億5,178万3千円の黒字となりました。

一般会計歳入 127億7,783万1千円

その他依存財源 1.8% 2億2410万8千円



	説明
町税	町民税、固定資産税、軽自動車税など
分担金	受益の程度によって徴収する負担金
使用料	町の施設等を利用者が負担した金額
繰入金	基金や特別会計から一般会計に入った金額
寄附金	ふるさと納税を含む町への寄附金
その他	上記以外の財産収入や繰越金など
地方消費税交付金	消費税のうち町に配分されるもの
地方交付税	国税から一定割合で交付されるお金
国庫支出金	事業実施のため国から交付されるお金
県支出金	事業実施のため県から交付されるお金
町債	町の事業のために借入される収入
その他	上記以外の地方譲与税や交付金など

特別会計・企業会計決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計・企業会計の決算概要は次のとおりです。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
後期高齢者医療特別会計	2億8,859万5千円	2億8,184万7千円	674万8千円	
国民健康保険特別会計	21億2,948万3千円	20億8,688万4千円	4,259万9千円	
介護保険特別会計	14億214万4千円	13億7,202万1千円	3,012万3千円	
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	4,089万円	3,803万8千円	285万2千円	
地方卸売市場事業特別会計	324万1千円	221万4千円	102万7千円	
水道事業企業会計	収益的収支	6億8,325万4千円	5億5,307万6千円	1億3,017万8千円
	資本的収支	3,000万円	3億1,993万1千円	△2億8,993万1千円
公共下水道事業企業会計	収益的収支	7億7,938万2千円	6億117万5千円	1億7,820万7千円
	資本的収支	4億5,886万5千円	7億3,604万6千円	△2億7,718万1千円

特別会計…法律で義務付けられている事業や一般会計と区分して経理を行う必要がある事業について設置する会計
企業会計…事業収益を持ち、複式簿記で経営する会計

決算についての問い合わせ先 ☒企画財政課財政係(2階②番窓口) ☎0224-53-2112

歳入

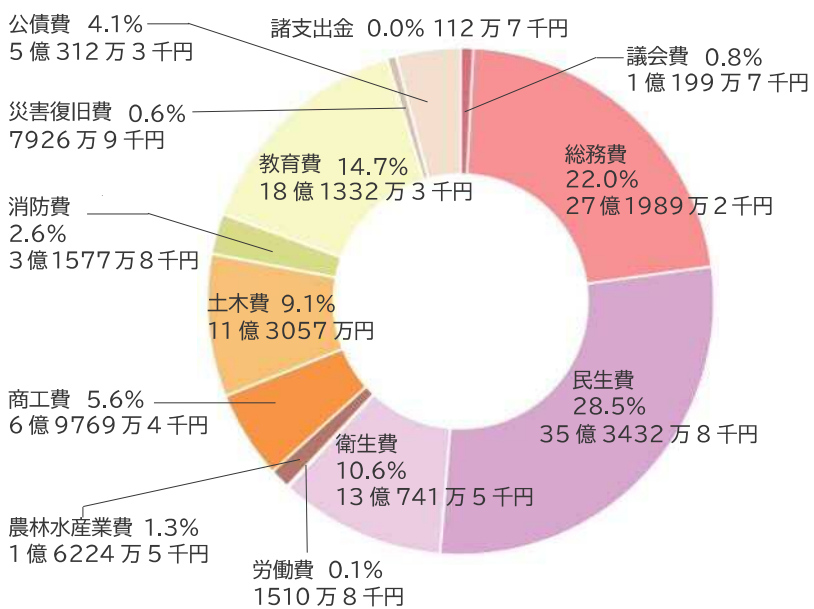
一般会計歳入決算額は、前年度と比較すると2.5%増となっています。その主な要因としては、新型コロナウイルス感染症対応に係る国庫補助金が大幅に減となったものの、ふるさと寄附金が大幅に増となったことによるものです。

歳出

一般会計歳出決算額は、前年度と比較すると2.0%増となっています。歳出の主なものは、総務費で、ふるさと寄附金に係る経費、民生費では、子育て世帯及び非課税世帯等への臨時特別給付金、衛生費では、新型コロナウイルススワクチン接種事業、農林水産業費では、中の倉地区水路改修工事費、商工費では、新型コロナウイルスウィルス感染症の拡大防止協力金及び事業者支援給付金、土木費では、町道舗装補修工事費、白

石川右岸河川敷等整備事業、(新)南桜公園整備工事費、教育費では、大河原中学校屋内運動場増改築工事費などとなっています。

一般会計歳出 123億8,186万9千円



	説明
議会費	町議会を運営するための経費
総務費	財産管理など役場運営全般的な経費
民生費	児童から高齢者まで福祉全般の経費
衛生費	健康・衛生的な生活のための経費
労働費	シルバー人材センターに対する補助金など
農林水産業費	農業委員会の運営や農業振興経費など
商工費	商工業の振興や観光事業などの経費
土木費	道路、橋、街路整備・改良、町営住宅管理
消防費	消防や防災対策のための経費
教育費	小・中学校など教育関係の経費
災害復旧費	災害による被害の復旧のための経費
公債費	町が借り入れた借金の返済金
諸支出金	その他の支出金

財政健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和3年度決算にかかる健全化判断比率等を公表します。

町の令和3年度決算では、早期健全化基準及び財政再生基準を下回り、財政状況は健全と言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に取り組んでいきます。

■健全化判断比率

指標名	決算比率	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	—	14.64%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.64%	30.00%
実質公債費比率	0.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	22.7%	350.0%	

■資金不足比率

会計名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)
地方卸売市場事業特別会計	—	20.00%
水道事業企業会計	—	20.00%
公共下水道事業企業会計	—	20.00%

	説明
実質赤字比率	市町村の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の状況を示すものです。
連結実質赤字比率	町の全会計の赤字・黒字を合算し、町全体の財政運営の状況を示すものです。
実質公債費比率	町の借入金返済等に充てた大きさを指標化し、財政負担を見るための比率です。
将来負担比率	将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、財政を圧迫する可能性を示すものです。
資金不足比率	公営企業会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足割合を示すものです。

▶実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字額がない、資金不足がないため、「—（該当なし）」を記載しています。